

文芸小くらがわ

俳句

【大和俳句会】

一年は瞬く如し梅の花 鈴木 登美子

出勤の息子の背見送る今朝の霜 安達 幸子

階の窪み円やか花の寺 岩渕 のぶ子

初孫の笑顔は宝ひな祭 田中 はつひ

老二人昔話や日向ぼこ 代田 とし

短歌

【花の室 木崎集】

どんよりと重く広がる雲間より片足の虹垂れ
下がりたり 塚田 沙玲

雪解けて陽ざしを浴びて犬ふぐり小さき花が
大きく見ゆる 石浜 今日子

「健やかに」義母の願いも小屋のすみ雛も娘
も三十路を過ぎて 大久保 まさ子

二十歳病床に読みし啄木の歌集を開けば葉包
出でたり 高昌

にこやかな姑の肖像ピアノの上黄泉へ届けよ
乙女の祈り 塩谷 明子

植ゑ替へて忘れてゐたる福寿草ひかり反して花
の眩しき 鈴木 とみ

「八重の桜」あやかり進もう我が道も男まさ
りが魅力なりけり 塚本 幸子

朝ごとに鏡見る顔険しくてまあるく丸くと言
いて始まる 西岡 和子

図書館の書架に見つけし岩波の文庫にしばし
少年となる 野村 幸男

古民家のひいなのままに悠久の時間はゆつく
りしずかに進む 山田 洋子

【岩瀬短歌会】
退職の日にち決まりしと次男坊かるがる言ふ
を箸止めて聴く 萩原 きしの

ひととせの巡りは早し弟の忌日に集う郷の
奥津城 石田 守子

訃報きき我身ならねど現世に戻る術なし遙か
な彼岸 飯田 よし江

小鳥らは早も来て鳴き庭中を飛びては障子に
影を映しぬ 山田 しげの

野も山も満日蕭条の冬の日にせめてネールを
真紅に染める 瀧井 幸子

海の色と空の群青へだてなく月の光に裸身を
さらす 広沢 日出子

凍て固き畑に残る大根の一本を抜く力をこめ
て 古賀 澄

【岩瀬萩歌会】
白く舞ふ初雪の朝すがすがし寒雀群れて庭に
弾めり 大関 節子

雪もよひの寒き一日を独り居の友は如何にと
受話器をとりぬ 安達 悦子

積年の思い遙かに過ぎ去りて蒼き山並今も変
らじ 安達 すみ子

熊笹の白き葉多き冬の庭青葉に変わる春の日を
待つ 角田 玉枝

シルバークー押しつゝ町中小川のほとり唄ふ
は花や春の小川を 坪井 ゆき子

春うらら嫁ぐ女孫のよき日なり嬉し涙はほほ
を濡らせり 長谷川 玲子

凛冽の中にも優し凜として香り豊けく咲くは
紅梅 石川 喜代

【一般投稿】
風雪に耐て膨らむ紅つぼみ乙めの春よと梅花
綻ぶ 鈴木 省一

【お詫びと訂正】
本紙前号（No.227）の中に誤りがありました。
お詫びして訂正（野線箇所）いたします。

【桜川市岩瀬「萩」俳句会】
痛む脛さすりつ飾る妻の雛 小林 啓治

広報 さくらがわ 有料広告 募集中!

■サイズ 1 枠 45mm×85mm、2 枠 45mm×172mm
■掲載料 (月額) 1 枠 10,000 円、2 枠 20,000 円
※連続掲載で割引制度があります。
■問合先 秘書広報課 ☎58-5111-75-3111、内線1268



あなたの側で、
誠実に、忠実に。

株式会社 デジタル印刷
TEL 0296-54-2626 (代)
FAX 0296-54-2724
www.digital-54-2626.com

igital
Digital Print Co., Ltd.